

2023年度 第1回  
連続研究会平和と共生の政治学  
—国家中心主義を超えて—複合的相互依存論を異文化圏に適用する方法：  
日本と中東の関係を事例にAdoption of the complex interdependence theory to different  
cultural areas: the case of the Middle East and Japan

使用言語 日本語

複合的相互依存論は、政治経済関係が安全保障問題よりも優先事項になるから、世界は平和となると論じていた。だが、この理論は、米国やカナダ等のように共通の文化圏の関係を事例に取り上げ、安全保障や文化問題を素通りできていた。本発表は、中東と日本という異なる文化圏を事例として、相互依存関係を論ずる方法を検討する。本報告は、*Japan and the Middle East : Foreign Policies and Interdependence* (Satoru Nakamura and Steven Wright eds., Palgrave, 2023)の導入となる理論枠組みを披露する機会となる。

日時：2023年 5月26日（金） 10:40～12:10

参加無料

場所：神戸大学国際文化学研究科D510教室

およびオンライン（Zoom, ハイブリッド形式）

講演者：中村 覚（中東政治、国際関係論）



お申込み：会場参加の方は不要です。

Zoom参加の方は、上記QRコード or <https://bit.ly/20230526>  
よりお申込みください。

※教室への道案内をお送りできます。

※下記のメールアドレスにご連絡くださればZOOM接続についてご案内を返信いたします。

お問い合わせ先：中村 覚（神戸大学大学院国際文化学研究科 教授）

satnaka@kobe-u.ac.jp